

**宝塚市議会報告**

**本気の力！市政を変える。VOL. 16**

—私たちのまちは、私たちでつくる。—

〒665-0033 宝塚市伊子志 2 丁目 17-8-4F TEL & FAX: 0797-72-2130

**宝塚市議会議員 いとう 順一（新風宝塚改革の会）**

**宝塚市議会 3 月定例会 議会報告（2/16～3/26 開催）**

日毎、春めいて参りましたが、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

3 月定例会は、平成 27 年度の施政方針と予算、平成 26 年度末の補正予算が主なテーマとなり、年 4 回の定例議会の中でも、最も重要な議会となります。

この間、3 月議会初日の市長の H27 年度施政方針を受け、2 月 26 日に行いました代表質問から、その後開催された総務常任委員会、予算特別委員会と、それぞれの質疑や会議の準備に、非常に慌ただしい日程でしたが、全力で取り組ませて頂きました。

3/26 の議案採決日となる最終日に、平成 27 年度宝塚市一般会計予算の修正案を提出いたしました。

下記は、その際に行いました討論の内容です。

3 月初めに、宝塚市の財政見通しが当局から発表されましたが、それによりますと、本年度 26 年度末では既に、9 億 3800 万円の収支不足に陥っています。

27 年度予算では、貯金となる基金を取り崩し、2 億円の収支不足の中で予算が組まれています。そして、今後 5 年間ずっと赤字が予測されており、税金の大幅増や地方交付税等が増えない限り、基金の取り崩しをするか借金をして予算を組むこととなります。

しかも、その予測には、ガーデンフィールズや NTN 跡地の利活用に対する費用、予定ではガーデンフィールズは総額 18 億円、NTN は 25 億円とされていますが、その費用が入っていません。

更に、国民健康保険が県に移管される H30 までに累積赤字の 16 億 6 千万円を解消しなければなりません、その費用も入っていません。

更に、公共施設マネジメントが策定されましたが、それによりますと、公共施設の更新経費は今後 40 年間で 4525.8 億円と試算されており、今のインフラを維持するなら、年あたり 113.2 億円が必要と試算されていますが、その費用も考慮されていません。

宝塚市の財政は待ったなしの状況であり、余裕がないのは明らかです。

しかし、職員給与減額措置延長も行われぬ等、行財政改革に対する真摯な取り組みが全く見えません。

また、来年度から国民健康保険・介護保険の値上げが敢行されますが、このような状態では、市民の理解は得られるとは思えません。

現在、宝塚市は解決すべき喫緊の大きな課題が山積しています。

例えば、

（裏面に続く）



**ブログ随時更新中！ <http://jito.jp>（携帯でも閲覧できます）**

いとう順一の活動や考え方を、週 3 日～4 日に一度、ブログにてお伝えしています。是非アクセスして下さい。